



【オンライン開催】

令和4年10月3日

新たな化学物質規制を踏まえた 自律的な化学物質管理促進セミナー (第2回)

プログラム3

GHS 混合物分類判定ラベル/SDS 作成支援システム (NITE-Gmiccs) の使用方法について

講演時間	プログラム
14時00分～ 14時45分	「職場における化学物質等の管理のあり方に関する検討会」 を踏まえた労働安全衛生法の新たな化学物質規制 講師：厚生労働省
14時50分～ 15時35分	SDS 制度及び GHS 分類ガイダンスを活用した SDS・ラベル作成 講師：SDS 研究会 吉川治彦様
15時40分～ 16時25分	GHS 混合物分類判定ラベル/SDS 作成支援システム (NITE-Gmiccs) の使用方法について 講師：製品評価技術基盤機構 (NITE) 正木啓仁様

主催

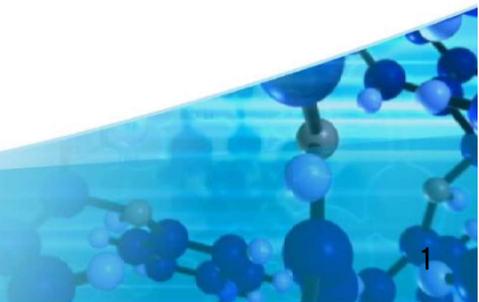
厚生労働省 労働基準局安全衛生部化学物質対策課

事務局

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援 システム（NITE-Gmiccs） の使用方法について

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）
化学物質管理センター



1

本講義の対象者

- 日本国内で化学品（主に安衛法、化管法、毒劇法の対象物質を含む）のGHS分類を行い、SDS・ラベルを作成又は取り扱う事業者

本講義の狙い

- 混合物のGHS分類およびSDS・ラベル作成の支援を行うシステムであるNITE-Gmiccsのおおまかな使用方法を理解すること

本講義の内容

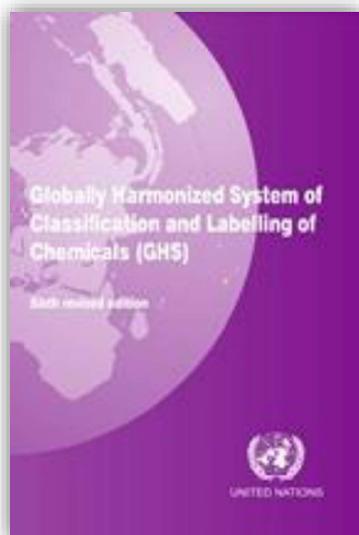
1. NITE-Gmiccsの概要

2. NITE-Gmiccsの利用方法

1. NITE-Gmiccsの概要

用語の確認

化学品の分類および表示に関する世界調和システム
GHS (Globally Harmonized System of
Classification and Labelling of Chemicals)



国連GHS文書
(パープルブック)

規定内容

- 物質および混合物を、健康、環境、および物理化学的危険有害性に応じて分類するために調和された**判定基準**
- 表示（ラベル）および安全データシート（SDS）の要求事項を含む、調和された危険有害性に関する**情報の伝達に関する事項**

用語の確認



日本産業規格(JIS)

•JIS Z 7252:2019

GHSに基づく化学品の分類方法

→危険有害性の分類方法に関するJIS

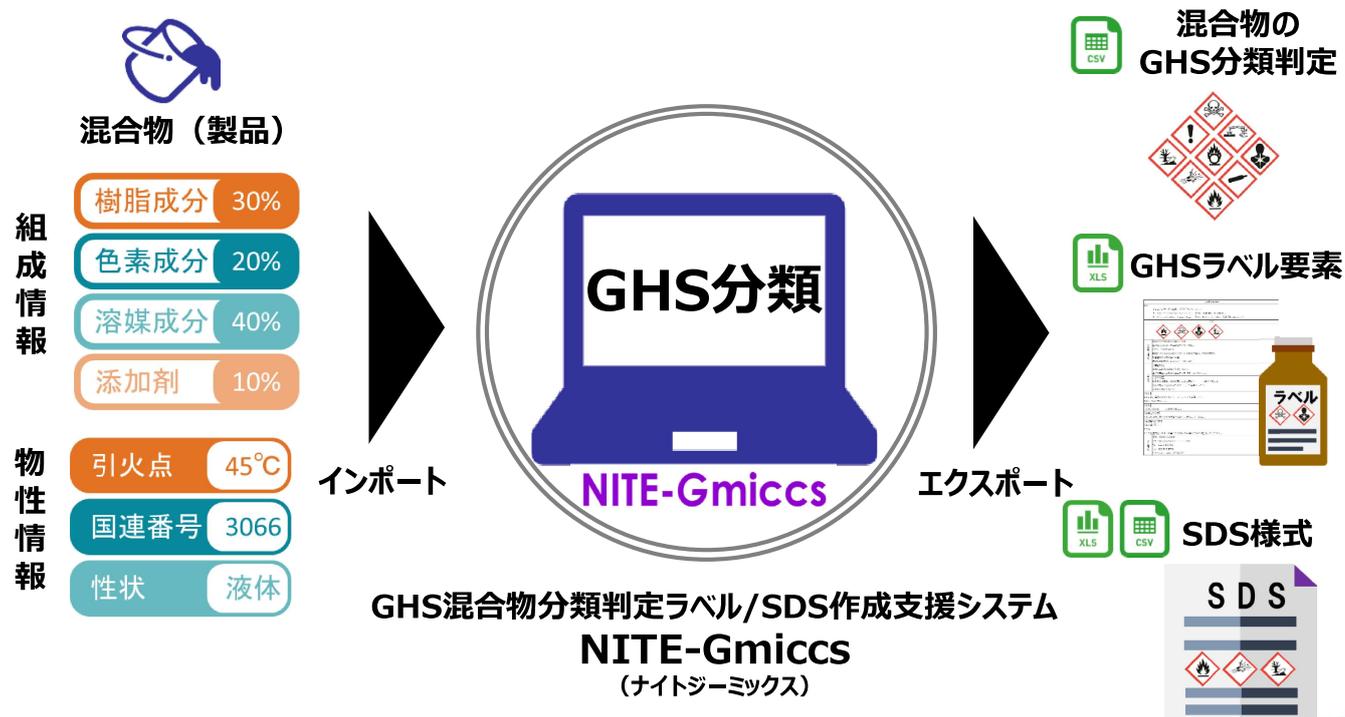
•JIS Z 7253:2019

GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

→SDSとラベルの作成方法に関するJIS

国連GHS文書の内容を日本のルールとして整理したのが2つのJIS

NITE-GmiccsはSDS・ラベルに必要な混合物のGHS分類（化学品の危険有害性判定）をWebブラウザからいつでもどこでも利用できる**無料のシステム**です



1. NITE-Gmiccsの概要



化管法

- ◆ SDSの提供義務
- ◆ ラベルの表示努力義務

安衛法

- ◆ SDSの提供義務
- ◆ ラベルの表示義務

毒劇法

- ◆ 名称、含量、製造業者の情報等の表示義務
- ◆ 性状・取扱いに関する情報等の提供義務

Gmiccsから出力したGHS分類結果をSDS・ラベル作成に活用できます

1. NITE-Gmiccsの概要

世の中に流通する化学品の多くは混合物（製品）

NITE-Gmiccsの適用範囲

ある製品が混合物として
“複数の成分を含む”

単一物質（純物質）ではなく
“混合物としてのGHSの分類”
を行う必要

混合物のGHS分類は
“主に組成成分のGHS分類と含有率”
から判定



塗料、顔料、染料、香料、薬剤、洗剤など...

労働安全衛生法の新たな化学物質規制においても、 混合物のGHS分類情報の伝達はますます重要になります

- 安衛法で導入が予定されている新たな化学物質規制では、下記等が求められます
- ✓ 労働者がリスクアセスメント対象物にばく露される程度について、物質代替、作業環境改善等により最小限度にする義務ばく露管理値設定物質は、ばく露管理値以下とする義務
- ✓ 健康障害を起こすおそれのあることが明らかな物質を製造・取り扱う業務に従事する労働者は、保護眼鏡、不浸透性の保護衣、保護手袋又は履物等適切な保護具の使用を行う義務



- こうした適切な管理を実施する上での基礎情報として、調達先から伝達される混合物のGHS分類情報やSDSが必要です

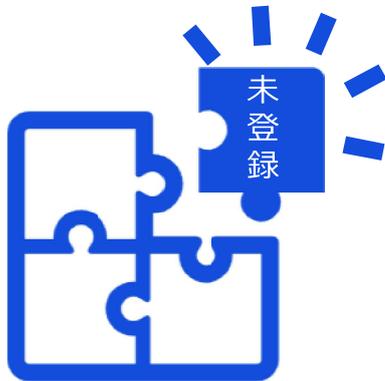
(例) 労働現場での作業者が、混合物GHS分類情報より、その危険有害性や留意点を把握

(例) CREATE-SIMPLEを用いた、混合物のリスクアセスメントを実施するため、混合物のGHS分類情報を利用

基礎データとして約3,000の単一物質（組成成分）のGHS情報をGmiccsへ収載



混合物（製品）中でNITE-Gmiccsに収録されていない組成成分データはユーザー側で登録する必要があります※



NITE-Gmiccs

GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム invented by METI

※未登録の組成成分についてはNITE-Gmiccsに登録が必要です。組成成分のGHS分類情報を用意し、NITE-GmiccsのStep2で登録します。成分のGHS分類情報がない場合は、データなし（分類できない）、として登録する必要があります。組成成分ごとのGHS分類方法については下記にまとめておりますのでご参照ください。

<GHS分類方法>

https://www.nite.go.jp/chem/ghs/ghs_classification.html

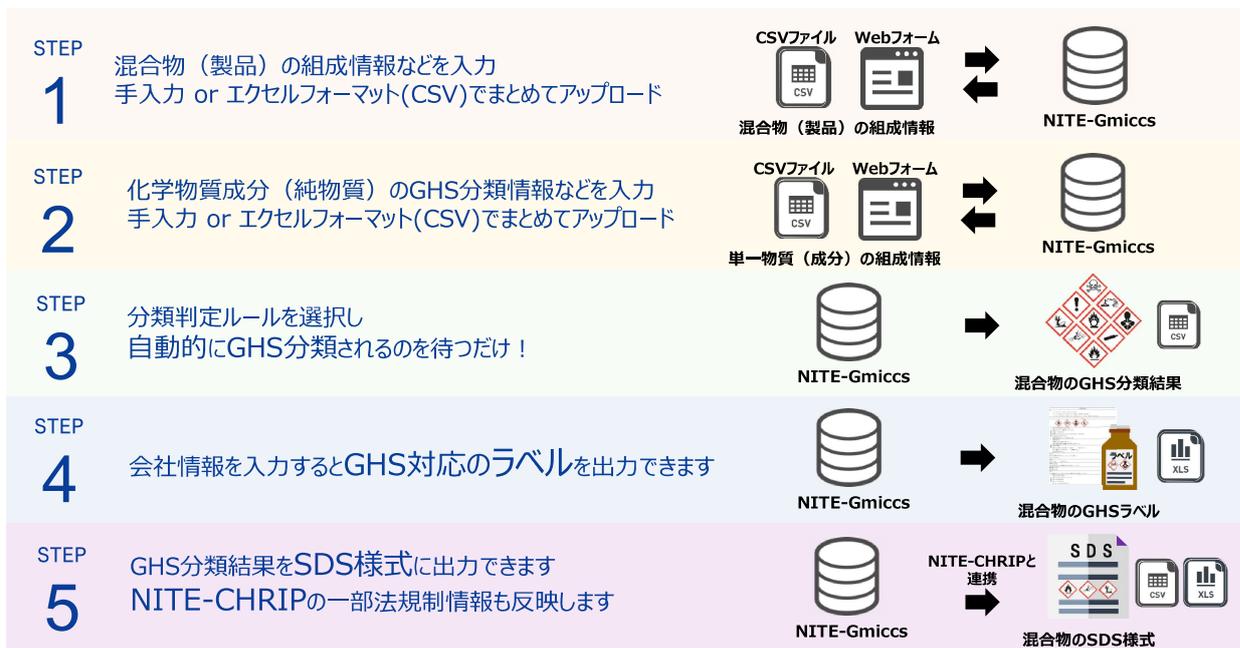
本講義の内容

1. NITE-Gmiccsの概要

2. NITE-Gmiccsの利用方法

2. NITE-Gmiccsの利用方法

システムを利用する際の基本的な流れは以下のとおり



nite

2. NITE-Gmiccsの利用方法

分類事例となる混合物

混合物ID: Sample1（半角英数で任意のIDを設定）

混合物(製品)名称: 消毒液(70%エタノール溶液)

	単一物質（成分）名	含有率 (重量%)	CAS RN	NITE分類の有無 NITE-Gmiccs収載	物質ID
1	エタノール	70	64-17-5	○	m-nite-64-17-5
2	水	30	7732-18-5	○	m-nite-7732-18-5
		100			

物理化学的性質: **物性: 液体、引火点: 20°C**

混合物(製品)としての物性

混合物(製品)としての引火点

今回は全て「政府によるGHS分類結果(通称: NITE分類)」が公開されている物質を使用しています。

nite

2. NITE-Gmiccsの利用方法

Step1へ遷移

1. TOPページから「混合物GHSを分類・ラベルを作成する」を選択します

2. Step1 「混合物（製品）組成情報」の画面が開きます（背景はオレンジ色）

3. 「1件ずつ登録」を選択します

混合物GHS分類、ラベル/SDS作成の手間を楽に

NITE-Gmiccs
GHS混合物が簡単にラベル/SDS作成できるシステム (powered by WIT)

混合物GHSを分類・ラベルを作成する¹

お知らせ

2022/09/01 NITE-Gmiccsのバージョンアップ (Version 2.0.7) について
→ 確認された不具合を修正しバージョンアップを行いました。詳細は更新履歴をご覧ください。

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 混合物(製品)組成情報 Step 2 化学物質(成分)GHS情報 Step 3 混合物GHS分類 Step 4 ラベル出力 Step 5 SDS様式出力

Step1 混合物（製品）の組成情報等を入力する
混合物組成情報および基本情報の入力
・複数の混合物(製品)をまとめて入力する

インポートデータ作成方法
* 差分置換 ○ 全件置換

インポート

混合物(製品)組成物質を1件ずつ登録する
※Webフォームで1件ずつ登録する場合はエクスポートでデータを保存することを推奨します。

1件ずつ登録

2. NITE-Gmiccsの利用方法

混合物基本情報の登録

「1件ずつ登録」をクリックすると、別のウィンドウに登録画面が出ます

必須項目以外はわかる範囲で記載していきます

混合物(製品)の基本情報

基本情報

混合物ID 必須 Sample1

混合物(製品)名称(日) 必須 消毒液 (70%エタノール)

混合物(製品)名称(英)

混合物GHS分類用の必要情報

物理化学的性状 必須 液体

引火点 20 °C

沸点

動粘性

混合物ID Sample1 (半角英数で任意のIDを設定)
混合物(製品)名称: 消毒液 (70%エタノール溶液)

単一物質(成分)名	含有率(重量%)	CAS RN	NITEGHS分類	物理化学的性状
1 エタノール	70	64-17-5	○	液体
2 水	30	7732-18-5	○	液体
	100			

物理化学的性質: 液体, 引火点 19.5°C

今回は全て「最前」によるGHS分類結果(液体, NITE分類)が公開されている物質を使用しています。

2. NITE-Gmiccsの利用方法

混合物組成情報の登録

The screenshot shows the 'Chemical Substance (Component) Selection Confirmation' page. It includes a search form for chemical substances and a table for adding components to a mixture. Callouts provide the following instructions:

1. 化学物質情報を検索します
①ユーザーが登録した単一物質（成分）情報
②Gmiccsに搭載されているNITE分類・EU分類
2. 組成情報として追加します
3. 全ての単一物質（成分）を追加したら含有量を記載し、最後に100%換算をクリックすることで混合物としての含有率を確定させます
4. 記載漏れがなければ登録します

選択	物質ID	CAS登録番号	出典	化学物質(成分)名称	GHS分類情報
<input checked="" type="checkbox"/>	m-nite-7732-18-5	7732-18-5	NITE	水	

削除	物質ID	CAS登録番号	出典	化学物質(成分)名称	含有量	含有率 (100%)	GHS分類情報
<input type="checkbox"/>	m-nite-64-17-5	64-17-5	NITE	エタノール	7%	70.0%	
<input type="checkbox"/>	m-nite-7732-18-5	7732-18-5	NITE	水	3%	30.0%	

2. NITE-Gmiccsの利用方法

登録された混合物の確認

The screenshot shows the 'Confirmation of Registered Mixture (Product) Composition Information' page. It includes a search form for registered mixtures and a table showing the registered mixture. Callouts provide the following instructions:

1. 登録完了すると登録用のページが閉じ、タブの数が減ります
2. 戻ったStep 1のページにて「検索実行」します。
3. 「検索実行」後、登録情報が確認できます。

全件選択	選択削除	混合物(製品)ID	混合物名称	組成情報等
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Sample1	消毒液 (70%エタノール)	<input type="button" value="詳細情報"/> <input type="button" value="コピー"/>

2. NITE-Gmiccsの利用方法

Step2へ遷移

1. Step2に進みます「次のステップへ」を押すか、又はStep2のアイコンを押して下さい

2. Step2「化学物質（成分）GHS情報」の画面が開きます（背景は黄色）

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 混合物(製品)組成情報 Step 2 化学物質(成分)GHS情報 Step 3 混合物GHS分類 Step 4 ラベル出力 Step 5 SDS様式出力

次のステップへ

Step1 混合物（製品）の組成情報を入力する

混合物組成情報および基本情報の入力

・複数の混合物(製品)をまとめて入力する

インポートデータ作成方法

※ 差分置換 ○ 完全置換

インポート テンプレート

・混合物(製品)組成物質を1件単位で登録する

※Webフォームで1件ずつ登録した場合はエクスポートでデータを保存することを推奨します。

1件ずつ登録

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 混合物(製品)組成情報 Step 2 化学物質(成分)GHS情報 Step 3 混合物GHS分類 Step 4 ラベル出力 Step 5 SDS様式出力

前のステップへ 次のステップへ

Step2 不足する化学物質（成分）のGHS情報等を確認・入力する

登録した混合物(製品)組成情報の中で不足する化学物質（成分）情報の確認

不足情報一覧 (0件取得)

物質ID CAS登録番号 混合物(製品)ID 混合物(製品)名称

不足情報を確認する※

※不足する情報がある場合はページ下部より個別成分のGHS情報等を入力してください

登録化学物質一覧

物質ID 化学物質(成分)名称 CAS登録番号 出典

部分一致 完全一致 部分一致 完全一致

ハイファンを含む ハイファンを除く

(0件取得) 検索実行 クリア エクスポート (CSVファイル)

全件選択 選択解除 物質ID CAS登録番号 出典 化学物質(成分)名称 GHS分類情報

混合物を構成する組成成分の情報がNITE-Gmiccsに搭載されていない場合はStep2で追加・確認を行います。今回は搭載されているもののみを含んだ混合物事例なのでStep2は割愛します。

2. NITE-Gmiccsの利用方法

Step3へ遷移

1. Step3に進みます「次のステップへ」を押すか、又はStep3のアイコンを押して下さい

2. Step3「混合物GHS分類」の画面が開きます（背景は緑色）

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 混合物(製品)組成情報 Step 2 化学物質(成分)GHS情報 Step 3 混合物GHS分類 Step 4 ラベル出力 Step 5 SDS様式出力

前のステップへ 次のステップへ

Step2 不足する化学物質（成分）のGHS情報等を確認・入力する

登録した混合物(製品)組成情報の中で不足する化学物質（成分）情報の確認

不足情報一覧 (0件取得)

物質ID CAS登録番号 混合物(製品)ID 混合物(製品)名称

不足情報を確認する※

※不足する情報がある場合はページ下部より個別成分のGHS情報等を入力してください

登録化学物質一覧

物質ID 化学物質(成分)名称 CAS登録番号 出典

部分一致 完全一致 部分一致 完全一致

ハイファンを含む ハイファンを除く

(0件取得) 検索実行 クリア エクスポート (CSVファイル)

全件選択 選択解除 物質ID CAS登録番号 出典 化学物質(成分)名称

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 混合物(製品)組成情報 Step 2 化学物質(成分)GHS情報 Step 3 混合物GHS分類 Step 4 ラベル出力 Step 5 SDS様式出力

前のステップへ 次のステップへ

Step3 混合物のGHS分類を実施・出力する

混合物GHS判定ルール等を選択する

分類判定ルール 分類ルール JISルール UNルール

機器種付与ルール 名称を統合する 名称を統合しない

登録した混合物（製品）のGHS分類を実施

混合物GHS分類判定一覧

混合物（製品）名称 混合物（製品）ID

部分一致 完全一致 部分一致 完全一致

分類判定実施 未実施 実施済 すべての 検索実行

2. NITE-Gmiccsの利用方法

混合物のGHS分類実行

Step3 混合物のGHS分類を実施・出力する

混合物GHS判定ルール等を選択する

分類判定ルール **必須** ? JISルール UNルール

風荷付与ルール **必須** ? 名称を統合する 名称を統合しない

登録した混合物（製品）のGHS分類を実施

混合物GHS分類判定一覧

混合物（製品）名称

混合物（製品）ID

分類判定実施 未実施 実施済 すべて

検索実行

(1件取得)

全件選択	選択削除	混合物(製品)ID	混合物名称	組成情報等	分類結果
<input checked="" type="checkbox"/>		Sample1	消毒液（70%エタノール）	詳細情報	未

分類実行※

1. Step3を開くとStep1で登録した混合物（製品）が表示されています

2. 分類を実施する対象の混合物にチェックをいれます

3. 「分類実行」をクリックします

2. NITE-Gmiccsの利用方法

混合物のGHS分類結果の確認

Step3 混合物のGHS分類を実施・出力する

混合物GHS判定ルール等を選択する

分類判定ルール **必須** ? JISルール UNルール

風荷付与ルール **必須** ? 名称を統合する 名称を統合しない

登録した混合物（製品）のGHS分類を実施

混合物GHS分類判定一覧

混合物（製品）名称

混合物（製品）ID

分類判定実施 未実施 実施済 すべて

検索実行

(1件取得)

全件選択	選択削除	混合物(製品)ID	混合物名称	組成情報等	分類結果
<input type="checkbox"/>		Sample1	消毒液（70%エタノール）	詳細情報	済

分類実行※

「済」と表示された「分類結果」をクリックすると分類ロジックに基づき判定されたGHS分類結果が新しいタブで表示されます（物理化学的危険性については一部を除き分類されません）

分類根拠

混合物(製品)ID: Sample1

混合物(製品)名称: 消毒液（70%エタノール）

分類項目: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分2B-CAS番号:64-17-5(含有率70%出典:NITE)
区分3に該当しないCAS番号:7732-18-5(含有率30%出典:NITE)

加成分が適用できる成分からの判定:
区分2Bの成分合計が70%であり、濃度限界(10%)以上のため、区分3に該当。

危険有害性情報:H313 強い眼刺激

閉じる 更新

GHS分類情報

物理化学的危険性 健康有害性

項目	分類結果	根拠
急性毒性（経口）	区分に該当しない	分類根拠
急性毒性（経皮）	区分に該当しない	分類根拠
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）	分類根拠
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない	分類根拠
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない	分類根拠
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない	分類根拠
眼に対する重篤な損傷性/軽刺激性	区分2	分類根拠
呼吸器刺激性	分類できない	分類根拠
皮膚感作性	分類できない	分類根拠
生物相適合性	分類できない	分類根拠
発がん性	区分1A	分類根拠
生物毒性	区分1A	分類根拠
生物毒性・授乳影響	分類できない	分類根拠
特定の臓器毒性（単回ばく露）	区分あり	分類根拠
特定の臓器毒性（反復ばく露）	区分あり	分類根拠
環境有害性	分類できない	分類根拠
環境有害性		

閉じる 更新

分類根拠には判定に至った理由が記載されます

混合物のGHS分類結果の確認

	消毒液（70%エタノール溶液）
CAS RN (CAS登録番号)	-
ID	Sample1
引火性液体	区分1
急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない（分類対象外）
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分1A
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器（単回ばく露）	区分3（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器（反復ばく露）	区分1（肝臓）、区分2（中枢神経系）
誤えん有害性	分類できない
水生環境急性有害性 短期（急性）	区分に該当しない
水生環境急性有害性 長期（慢性）	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

Step4へ遷移

1. Step4に進みます「次のステップへ」を押すか、又は Step4のアイコンを押して下さい

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 混合物(製品)組成情報 Step 2 化学物質(成分)GHS情報 Step 3 混合物GHS分類 Step 4 ラベル出力 Step 5 SDS様式出力

←前のステップへ 次のステップへ→

Step3 混合物のGHS分類を実施・出力する

混合物GHS判定ルール等を選択する

分類判定ルール 適用 非適用

優先順位付与ルール 適用 非適用

登録した混合物(製品)のGHS分類を実施

混合物GHS分類判定一覧

混合物(製品) 名称:

混合物(製品) ID:

分類判定実施 未実施 実施済

2. Step4 「ラベル出力」の画面が開きます（背景は青色）

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 混合物(製品)組成情報 Step 2 化学物質(成分)GHS情報 Step 3 混合物GHS分類 Step 4 ラベル出力 Step 5 SDS様式出力

←前のステップへ 次のステップへ→

Step4 分類結果に対応したラベルを出力する

GHS対応ラベル用の必要情報入力

会社(供給者)情報

会社名

住所

2. NITE-Gmiccsの利用方法

ラベル要素の確認

登録した混合物（製品）のGHS情報に基づくラベル要素を出力

混合物（製品）名称
混合物（製品）ID
注意書き取り込みレベル

ラベル要素

混合物ID	混合物名	組成情報	分類結果	ラベル要素	レベル	登録済件数
Sample1	消毒液（70%エタノール）			ラベル要素	2	8件

Step3でGHS分類を行った混合物（製品）が一覧に表示されます

「ラベル要素」をクリックすると、別のウィンドウにラベル要素として印字される内容が表示されます

ラベル要素

判定ルール: 品

混合物ID: Sample1

混合物（製品）名称: 消毒液（70%エタノール）

成分	物質ID	CAS登録番号	純度	化学物質名称	登録済件数
	nite-64-17-5	64-17-5	NITE	エタノール	7000
	nite-772-18-5	772-18-5	NITE	水	3000

ピクトグラム (転写済)

注意喚起記号: 危険

危険有害性情報および注意書き

危険有害性情報	安全対策	応急措置	保存	廃棄
コード	危険有害性情報			
H224	極めて引火性の高い液体及び蒸気			
H319	眼に刺激を及ぼす			
H335	呼吸器への刺激のおそれ			
H336	喘息又ははせみのおそれ			
H350	発がんのおそれ			
H360	生殖機能低下のおそれ			
H372	長期にわたる又は反復曝露による神経系の障害のおそれ			
H373	長期にわたる又は反復曝露による中枢神経系の障害のおそれ			

2. NITE-Gmiccsの利用方法

ラベル用の必要情報入力 会社（供給者）情報

Step4 分類結果に対応したラベルを出力する

GHS対応ラベル用の必要情報入力

会社（供給者）情報

編集

会社名

住所

電話番号

電子メールアドレス

1. 出力するラベルに問題がなければラベル供給者名や住所などの項目を入力していきます。編集ボタンから入力画面を開きます。

2. 入力フォームから直接入力することもできますが、会社（供給者）情報を記載したCSVファイルをインポートすることで入力の手間を省略することができます。テンプレートファイルをダウンロードしご利用下さい。

会社（供給者）情報

インポート テンプレート インポートデータ作成方法

会社名: (販売元) XXX株式会社
(製造者) 株式会社△△△△

住所: (販売元) 〒XXX-XXXX 東京都〇〇区
(製造者) 〒XXX-XXXX 神奈川県XXX町

電話番号: 03-3481-XXXX

電子メールアドレス: chem-XXXX@nite.go.jp

ファクシミリ(FAX)番号: 03-3481-XXXX

緊急連絡番号: 03-3481-XXXX

閉じる 更新

2. NITE-Gmiccsの利用方法

ラベルの出力

登録した混合物（製品）のGHS情報に基づくラベル要素を出力

混合物一覧

混合物（製品）名称 部分一致 完全一致

混合物（製品）ID 部分一致 完全一致

注意書き絞り込みレベル

(1件取得)

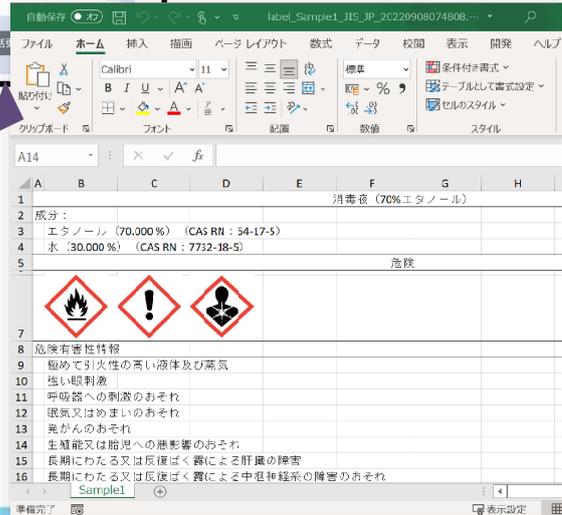
全件選択	混合物ID	混合物名称	組成情報	分類結果
<input checked="" type="checkbox"/>	Sample1	消毒液（70%エタノール）	<input type="button" value="詳細情報"/>	<input type="button" value="分類結果"/>

ラベルの出力 (xlsxファイル) レベル4

2. 「ラベル出力」をクリックします

1. 必須事項を入力したら、ラベル出力する混合物にチェックをいれます

ラベルはエクセルファイル形式で出力され内容の編集ができます



nite

27

2. NITE-Gmiccsの利用方法

Step5へ遷移

1. Step5に進みます「次のステップへ」を押すか、又はStep5のアイコンを押して下さい

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 Step 2 Step 3 Step 4 Step 5

混合物(製品)組成情報 化学物質(成分)GHS情報 混合物GHS分類 ラベル出力 SDS様式出力

←前のステップへ 次のステップへ→

Step4 分類結果に対応したラベルを出力する

GHS対応ラベル用の必要情報入力

会社（供給者）情報

会社名

住所

2. Step5「SDS様式出力」の画面が開きます（背景は紫色）

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 Step 2 Step 3 Step 4 Step 5

混合物(製品)組成情報 化学物質(成分)GHS情報 混合物GHS分類 ラベル出力 SDS様式出力

←前のステップへ

Step5 分類結果をSDSの様式へ出力する

GHS対応SDS用の必要情報入力

会社（供給者）情報

会社名

住所

電話番号

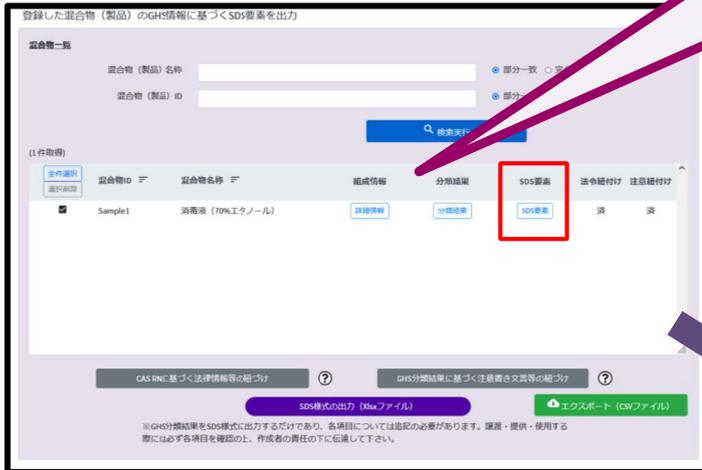
nite

28

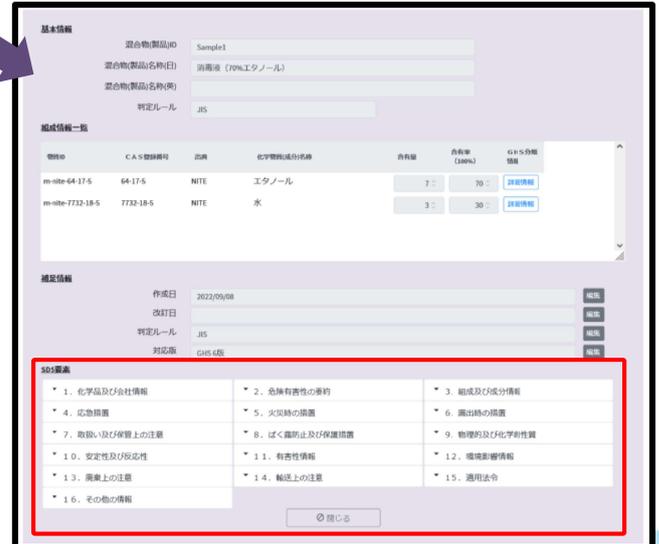
2. NITE-Gmiccsの利用方法

SDS要素の確認

Step3でGHS分類を行った混合物（製品）が一覧に表示されます



1. 「SDS要素」をクリックすると、別のウィンドウにSDS要素として出力される内容が表示されます。



2. 「SDS要素」としてGHS/JISで定められた全16項目が表示されます。

2. NITE-Gmiccsの利用方法

SDS要素の確認

1. SDS要素の各項目を選択すると、各項目で定められた小項目が展開します。



2. 各小項目の編集ボタンを選択すると編集画面がポップアップします。

3. 編集画面で入力し更新することで記載内容を保存できます。



2. NITE-Gmiccsの利用方法

SDS要素の確認

Step3で行った分類の結果はSDS要素の各項目に反映されています。

- GHS分類結果
→ 「2.危険有害性の要約」
- 組成成分の情報
→ 「3.組成及び成分情報」
- 健康有害性の分類根拠
→ 「11.有害性情報」
- 環境有害性の分類根拠
→ 「12.環境影響情報」

※SDSの各項目が自動的に全て埋まるわけではありません

SDS要素		
▼ 1. 化学品及び会社情報	▼ 2. 危険有害性の要約	▼ 3. 組成及び成分情報
▼ 4. 応急措置	▼ 5. 火災時の措置	▼ 6. 漏出時の措置
▼ 7. 取扱い及び保管上の注意	▼ 8. ばく露防止及び保護措置	▼ 9. 物理的及び化学的性質
▼ 10. 安定性及び反応性	▼ 11. 有害性情報	▼ 12. 環境影響情報
▼ 13. 廃棄上の注意	▼ 14. 輸送上の注意	▼ 15. 適用法令
▼ 16. その他の情報		

2. NITE-Gmiccsの利用方法

SDS要素へ情報の反映 会社（供給者）情報

1. 会社（供給者）情報は初期状態ではSDS要素に反映されておりません。必ず「会社（供給者）情報のSDS要素への反映」のボタンを押してください。

2. 反映行くと全ての混合物のSDS要素「1. 化学品及び会社情報」に上書きされます。

SDS要素		
▼ 1. 化学品及び会社情報	▼ 2. 危険有害性の要約	▼ 3. 組成及び成分情報
▼ 4. 応急措置	▼ 5. 火災時の措置	▼ 6. 漏出時の措置
▼ 7. 取扱い及び保管上の注意	▼ 8. ばく露防止及び保護措置	▼ 9. 物理的及び化学的性質
▼ 10. 安定性及び反応性	▼ 11. 有害性情報	▼ 12. 環境影響情報
▼ 13. 廃棄上の注意	▼ 14. 輸送上の注意	▼ 15. 適用法令
▼ 16. その他の情報		

1. 化学品及び会社情報		
化学品の名称 (日)	消毒液 (70%エタノール)	編集
製品コード		編集
化学品の供給者名 (会社)	製品評価技術基盤機構 (NITE)	編集
住所	東京都中央区	編集
電話番号	03-XXXX-XXXX	編集

2. NITE-Gmiccsの利用方法

SDS要素へ情報の反映 法律情報等のSDSへの紐づけ



NITE-GmiccsはNITE-CHRIPの一部法規制情報を記載しており、混合物の組成成分に法規制等の対象物質が含まれる場合は含有を判定し、SDS要素に法律等の対象物質であることを記載をします。

1. 反映させたい混合物を選択し「CAS RNに基づく法律情報等の紐づけ」を実行します。

2. 混合物の組成物質に法律等の対象物質がある場合にSDS要素の「15.適用法令」、「3.組成及び成分情報」等の項目に該当する情報を上書きします。



2. NITE-Gmiccsの利用方法

(参考) Gmiccsで参照可能なNITE-CHRIPの法規制等の情報

混合物に含まれる組成成分のCAS登録番号がNITE-CHRIPに掲載されている一部法律リスト(右図)に該当する場合はSDSの項目に情報を出力します

NITE-CHRIP

NITE化学物質総合情報提供システム

連携

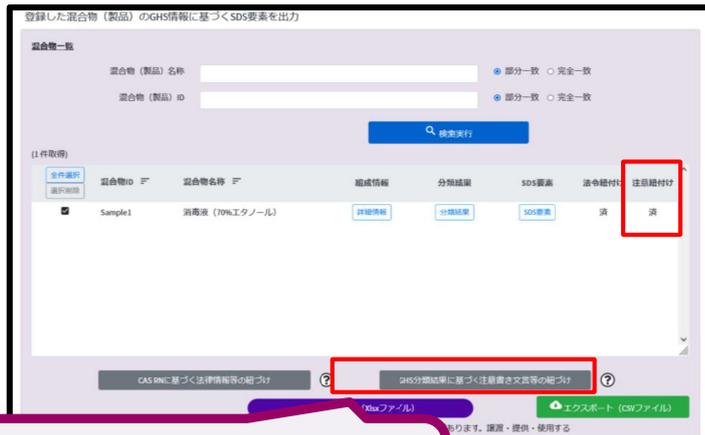
※NITE-CHRIPでは全ての法律対象物質、全てのCAS登録番号を記載しているわけではありません。

※各法律における裾切値等は考慮していません。

NITE-CHRIPに掲載されている一部の法律情報等	SDS要素出力項目	SDS要素出力小項目
化審法：第一種特定化学物質	15, 適用法令	その他の国内法令
化審法：既存化学物質	3, 組成及び成分情報	官報公示整理番号(化審法)
化審法：新規公示化学物質(2011年4月1日以降届出)	3, 組成及び成分情報	官報公示整理番号(化審法)
化審法：新規公示化学物質(2011年3月31日以前届出)	3, 組成及び成分情報	官報公示整理番号(化審法)
安衛法：名称公表化学物質	3, 組成及び成分情報	官報公示整理番号(安衛法)
安衛法：新規名称公表化学物質	3, 組成及び成分情報	官報公示整理番号(安衛法)
化管法	15, 適用法令	化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
毒物及び劇物取締法	15, 適用法令	毒物及び劇物取締法
安衛法：表示対象物、通知対象物	15, 適用法令	労働安全衛生法
安衛法：特定化学物質障害予防規則	15, 適用法令	労働安全衛生法
大気汚染防止法	15, 適用法令	その他の国内法令
水質汚濁防止法	15, 適用法令	その他の国内法令
土壌汚染対策法	15, 適用法令	その他の国内法令
日本産業衛生学会：許容濃度	8, ばく露防止及び保護措置	許容濃度
REACH：高懸念物質(SVHC)	15, 適用法令	その他の国内法令

2. NITE-Gmiccsの利用方法

SDS要素へ情報の反映 注意書き文言等のSDSへの紐づけ



ラベル要素として求められるGHSの危険有害性区分に割り当てられたGHSが推奨する注意書きのコード（Pコード）に規定されている文言を参考情報としてSDS様式上の各項目に記載できます。

1. 反映させたい混合物を選択し「GHS分類結果に基づく注意書き文言等の紐づけ」を実行します。

2. 混合物のGHS分類結果に基づき割り当てらる注意書きのコード（Pコード）がある場合はSDS要素の「4.応急措置」、「5. 火災時の措置」、「6. 漏出時の措置」等の項目にPコードに紐づく文言を上書きします。



nite

35

2. NITE-Gmiccsの利用方法

(参考) SDS要素に上書きされる注意書き（Pコード）について

混合物のGHS分類結果に基づき注意書きの文言（Pコード）を右図に従ってSDSの各項目に出力します。

記載内容はラベルと同じです

GHS/JISで定められた注意書きコードの種類	該当するPコード	SDS要素出力項目
安全対策の注意書きコード	P2XX	7. 取扱い及び保管上の注意 8. ばく露防止及び保護措置 等
応急措置の注意書きコード	P3XX	4. 応急措置 5. 火災時の措置 6. 漏出時の措置
保管（貯蔵）の注意書きコード	P4XX	7. 取扱い及び保管上の注意
廃棄の注意書きのコード	P5XX	1 3. 廃棄上の注意

※それぞれのPコードで規定する文言をSDS要素のどの小項目に出力するのについてはNITEで細かく設定を行っています。詳細についてはNITE-Gmiccsの「使い方」のページに掲載されている以下のファイルをご参照下さい。

【別紙】注意書き文言のSDS上の出力先リスト↓以下参照

NITE-Gmiccs 使い方

https://www.ghs.nite.go.jp/link/ja/gmiccs_Howtouse.html

■SDS様式への注意書き文言等の出力機能(GHS分類結果に基づくPコードの紐づけ)(Step5機能)

nite

36

NITE-Gmiccsでできる事

人健康/環境有害性のGHS分類判定



加算式及びカットオフ値で実施できる分類

1

“一部”の物理化学的危険性のGHS分類判定



可燃性ガス、酸化性ガス、引火性液体はデータ次第
残りの項目は国連番号から分類

2

分類結果及びラベルの日英対応 **English**

データの日英変換を自由に英語での作業入力も可能

3

大量のデータを入出力



複数の混合物（製品）情報や単一物質（成分）情報をCSVで入出力

4

NITE-Gmiccsでできない事

化学物質“**単体**”の分類

混合物ではない単一物質の分類機能は設けていません



1

他国のルールによる分類

GHS改訂6版以外のルールによる分類は実行不可
多言語にも非対応



2

SDSの全項目の記載

SDS様式機能で出力したものを、そのまま完成したSDSとして使用することはできません
必ず追記の必要があります



3

データがない物質の分類

Gmiccsに登録されていない組成成分はユーザーが登録しないと分類できません



4

システム上にデータ保存

システム上にデータは保存されません
①混合物組成情報
②単一物質情報
③分類結果・ラベルSDS様式
は登録実行後にダウンロードして下さい



5

注意

NITE-Gmiccsから出力される結果について

【政府によるGHS分類結果（NITE分類） 及びNITE-Gmiccsで判定される結果】

- ・政府によるGHS分類結果（NITE分類）はラベルやSDSを作成する際の**参考分類**
- ・NITE-Gmiccsで判定される結果はラベルやSDSを作成する際の**参考結果**
- ・最も優先されるのは**混合物自体の試験データ**
- ・得られた分類判定をラベルやSDSに**記載しなければならない義務はない（国内）**

【NITE-Gmiccsにおける物理化学的危険性の分類判定】

- ・NITE-Gmiccsでは物理化学的危険性について**一部のみの分類**がシステムで判定可能
- ・判定する場合も**“混合物”としてのデータ（引火点、初留点、国連番号）**からの判定が基本
- ・システムで判定されない物理化学的危険性は**ユーザーで分類結果に追記の必要あり**

お問い合わせ先

TEL. 03-3481-1999

[メールお問い合わせフォーム](#)

<https://www.nite.go.jp/cgi-bin/contact/?cid=00000130&lang=0>

使用方法についてお気軽にお問い合わせ下さい

独立行政法人
製品評価技術基盤機構
化学物質管理センター
情報業務課